



# 生活者の目線で、行政の事業をチェック!



❖決算特別委員会での審議を報告します❖

市民からお預りした税金が、どんな目的でどのような事業に使われ、地域の課題解決に向けてきちんと成果を出せたかどうかをチェックするのが、1年に1度の決算特別委員会です。地方財政が厳しさを増す中、歳入をどう確保していくのか、身の丈にあわない借金(市債)を増やしていないかなども大事なチェックポイントとなります。生活者ネットは、公約に掲げた「ひとりにしない!子育て・介護」など、生活者の目線で、主要な事業の目的と効果を検証しました。

## 2015年度決算の主なチェックポイント



後藤ゆう子

ここを評価  
しました!

かとう涼子



### 健全な財政運営に向けた取り組み

厳しい財政状況の中、徹底した予算の執行管理に努め、実質収支と昨年度赤字だった単年度収支及び実質単年度収支がいずれも黒字になったことを評価します。

その他、経常収支比率が5年ぶりに改善されたことや、基金の取り崩しを抑制し、目標である標準財政規模の10%を超える基金残高を確保したことも評価します。

### 子どもの虐待防止対策が前進

2014年7月に起きた、中学2年の男子生徒の自死事件以降、市が虐待防止と早期発見の取り組みを進めてきたことを評価しました。決算審査では、学校と福祉(子ども家庭支援センター)等の連携強化により、2015年度の虐待の新規報告・相談件数が221件と、2013年度比で3.7倍に増加したことが分かりました。

改善を要望  
しました!

### 西東京市でも子どもの貧困対策を!

子どもの貧困対策に真正面から取り組んでいないこと。学習支援は、生活困窮者自立支援制度の中でのひきこもり・ニート対策のみにとどまっていることや、新入学学用品費の支給時期が入学後の7月頃と、実際に必要な時期と大きくずれていることから改善が必要です。

現在休止している、市の奨学金制度の再開も求めました。

### 本当に必要? プレミアム商品券

20%のプレミアム率で、計5万冊発行されたコスモス商品券。ところが、効果検証に必要な購入者数を市が把握していないことが分かりました。世帯単位での冊数制限をしなかったため、10冊以上購入する世帯が全体の5割を占めたことも分かり(商工会アンケート調べ)、市の事業として公平性、公益性に問題があったと指摘しました。

今後は一時的な消費喚起ではなく、まちの魅力につながる産業振興を優先するべきです。

その他の質疑:生活困窮者自立支援制度の取り組み/自殺対策/NPO等企画提案事業/子育て支援ショートステイ事業/児童館での若者支援の可能性/太陽光発電設備の助成の総括/急傾斜崩壊危険個所の情報提供/給食への地場野菜利用状況一ほか

その他の質疑:市税収入と徴収率向上の取り組み/普通建設事業費への対応/庁舎統合問題/障がい者の相談支援事業/待機児童対策と保育の質の確保/学童保育の定員超過問題/介護予防とトレーニングマシン問題/はなバスと公共交通空白地域問題/不登校の子どもへの支援/ひばりが丘公民館の分室化、新町図書館の分室廃止への対応一ほか



発行者 ■  
西東京・生活者ネットワーク

発行責任者/渡辺 嘉津子 発行日/2016年10月28日  
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102  
FAX/042-410-0014 E-mail/nishitokyo@seikatsusha.net  
TEL 042-453-4121

